

「国産リキッドフィーディングシステムの開発」

『本事業は、日本中央競馬会及び財団法人 全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて、平成21～23年度事業・飼料化機械改良実証事業として実施しています。』

リキッドフィーディングとは

主に食品残さから作られる液状の飼料(エコフィード)をパイプラインで搬送して給餌するものです。

主な原料

原材料は、衛生管理された食品工場やスーパーマーケットなどの食糧残さ、食品循環資源を利用します。管理された原料なので、栄養管理もしやすいのが特徴です。食品残さを使用するので、飼料費のコスト低減が期待できます。



開発の狙い

- 初心者でも利用しやすい
- 農場での設置が容易となる
コンテナ内一体型装置
- 故障時対応できる(手動操作)
- 交換品の調達が容易
- エコフィードに対応



期待される成果

- リキッドフィーディング方式の導入が容易
- 飼料コスト、生産コストの低減
- 飼料自給率の向上
- 国内技術の蓄積

日本の畜産環境に適した国産の自動給餌システムを目指し、攪拌装置、フィードバルブ及び給餌プログラムなどを新たに開発。エコフィードと配合飼料等を混合して自動給与するエコフィード対応型の給与技術を確認、実証試験を行いました。

今回の開発機械、装置

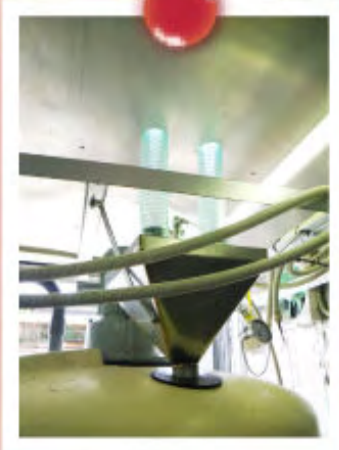
収納コンテナの装置内部



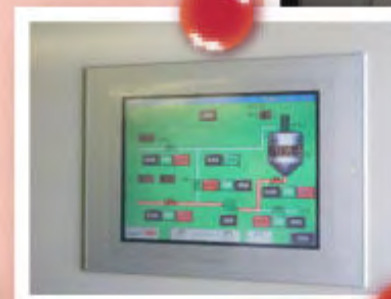
コンテナ内の攪拌装置



フィードバルブ



制御盤



携帯端末



「国産リキッドフィーディングシステムの概要」



実証試験機

『国産の部品を使用、メンテナンス性に優れている』
『一体型なので設置性に優れている』
『耐久性に優れている』

1 搬出、搬入 コンテナ式で農場での設置が容易



2 パイプラインとの接続 屋外設置コンテナとの接続で設置完了

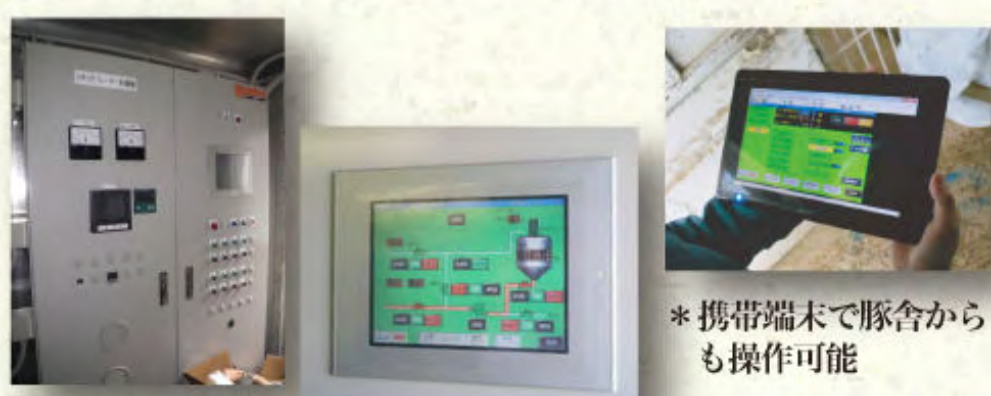


3 飼料攪拌タンク 容量は、肥育豚500頭分



*複数のコンテナで
大規模豚舎にも対応

4 制御盤 タッチパネル方式/給餌回数、時間など簡単に操作



*携帯端末で豚舎から
も操作可能

5 リキッドフード送出



6 豚舎内に設定されたフィードバルブ 故障時にも手動で給餌可能



フィードバルブ用電磁弁

7 餌槽への給餌



委託先：ヨシモトポール(株)